

参加の力を活かして

～誰にでも居場所と出番のある信州～



今、地域ではシニア世代の力が求められています。地域のため何かできること、ボランティア活動、NPO 法人など、どのように関わったらいいでしょうか？基調講演を通して、参加する事の大切さを考え、地域の活動事例をパネルディスカッションで紹介します。

参加費無料

日時
会場

令和6年7月30日(火)13:30～15:30
安曇野市豊科公民館ホール

安曇野市豊科4289-1

基調
講演

参加の力が創る共生社会

講師:早瀬昇氏

社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長



パネル ディ
スカッション

地域活動の事例紹介

ファシリテーター:内山二郎氏

フリージャーナリスト



主催
問合せ

主 催:(公財)長野県長寿社会開発センター松本支部
安曇野市社会福祉協議会

協 力:松本地区賛助会、安曇野市市民活動サポートセンター

問合せ:(公財)長野県長寿社会開発センター松本支部

☎0263-40-1912

基調講演 講師



早瀬 昇（社会福法人大阪ボランティア協会 理事長）

1955年、大阪府生まれ。大学で電子工学科を専攻するも、交通遺児家族支援、地下鉄のバリアフリー化、市民活動情報誌の編集などの活動に次々に参加。大学卒業後、フランス、ベルギーの障害者グループホームでケアワーカーを経験した後、1978年に大阪ボランティア協会に就職。91年から2010年まで事務局長。「市民の参加の力」で社会問題を自治的に解決する環境整備をライフワークとし、現在、日本ボランティアコーディネーター協会理事、日本ファンドレイジング協会理事、なども務める。著書に『「参加の力」が創る共生社会－市民の共感・主体性をどう醸成するか』『寝ても覚めても市民活動論』など。ビートルズをこよなく愛する赤ワイン党。大の阪神タイガースファン。

パネルディスカッション

内山 二郎

1943年神奈川県生まれ、本籍長野市信更町 更府小学校、信更中学校、長野高校、慶応義塾大学卒業、学生時代にベトナム戦争下の現地へ赴く、マグロ船乗り、沖仲仕、鳶職、映画助監督、TVディレクターなどを経てフリージャーナリスト。2024年6月まで長野県長寿社会開発センター理事長を務める。長野県農村文化協会理事、長野県社会福祉協議会評議員、長野県共同募金会監事、長野県「人生2毛作県民会議」座長、長野市社協「傾聴電話」運営委員長。

ファシリテーター



活動事例紹介グループ

●松本地区賛助会
安曇野地域会

長野県シニア大学卒業生を中心とした、松本地区賛助会の活動グループ。マレットゴルフやウォーキング、ボウリングなどの健康づくりや、パソコン学習、陶芸教室、地域のボランティア活動など多才な部会で活動中。会員募集中！

●安曇野案内人倶楽部

安曇野を訪れる方へ、観光ガイドで旅の思い出作りをお手伝いしています。春夏秋冬、ご希望に合わせて、安曇野を楽しんでいただく様々なコースを用意しています。地元のまち歩きや歴史、文化の勉強会なども企画しています。ご依頼、お待ちしております。

●チャイルドライン中信

チャイルドラインは18歳までのこどもがかけられる専用電話。ひとりで抱えている思いを、誰かに話すことで少しでも楽になるように、養成講座を受けた「受け手」がボランティアでこどもたちの話を聴きます。中信地域で立ち上がったグループです。「受け手」募集中！

【会場案内図】

安曇野市豊科公民館
安曇野市豊科 4289-1
(JR 豊科駅から徒歩約 11 分)



【問合せ】

(公財)長野県長寿社会開発センター
☎0263-40-1912